

三重県における人口移動状況について

2017(平成29)年の住民基本台帳人口移動報告によると、転出超過数は4,063人で、2016(平成28)年の転出超過数3,597人より66人増加した。「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」における社会減対策の数値目標の出発点となる転出超過数3,000人(住民基本台帳人口移動報告2013(平成25)年と2014(平成26)年の2カ年の平均値、以下「基準値」という)と比べると、転出超過数が1,063人増加している。

また、2017年の転入者数は25,633人、転出者数は29,696人であるが、2010(平成22)年からの推移をみると、転出者数は2015年に3万人を超えたものの、その他の年は2万人台で推移しているが、転入者数は減少傾向にある。

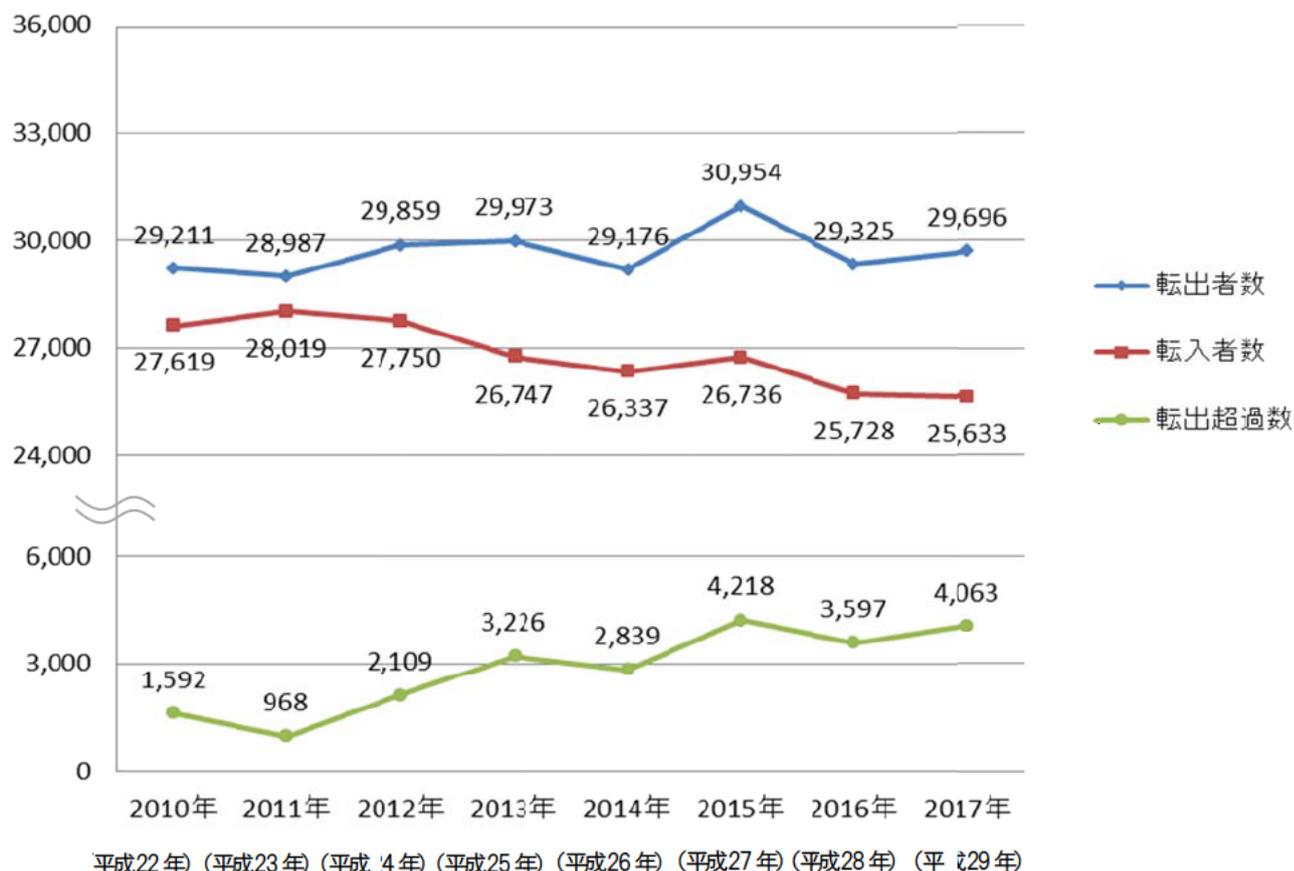
ここでは、転入・転出超過数、転入者数、転出者数のそれぞれについて、「年齢階級別」、「地域ブロック別」の推移をみることで

- ・三重県の転出超過数が基準値から増加傾向にある要因
- ・三重県の転入者数が減少傾向にある要因

は何なのかといったことを探るための分析の資料とする。

なお、分析にあたっては、基準値を算出根拠とした2013年及び2014年を2017年の比較対象とした。

【図1】 三重県における転出超過数、転入者数、転出者数の推移

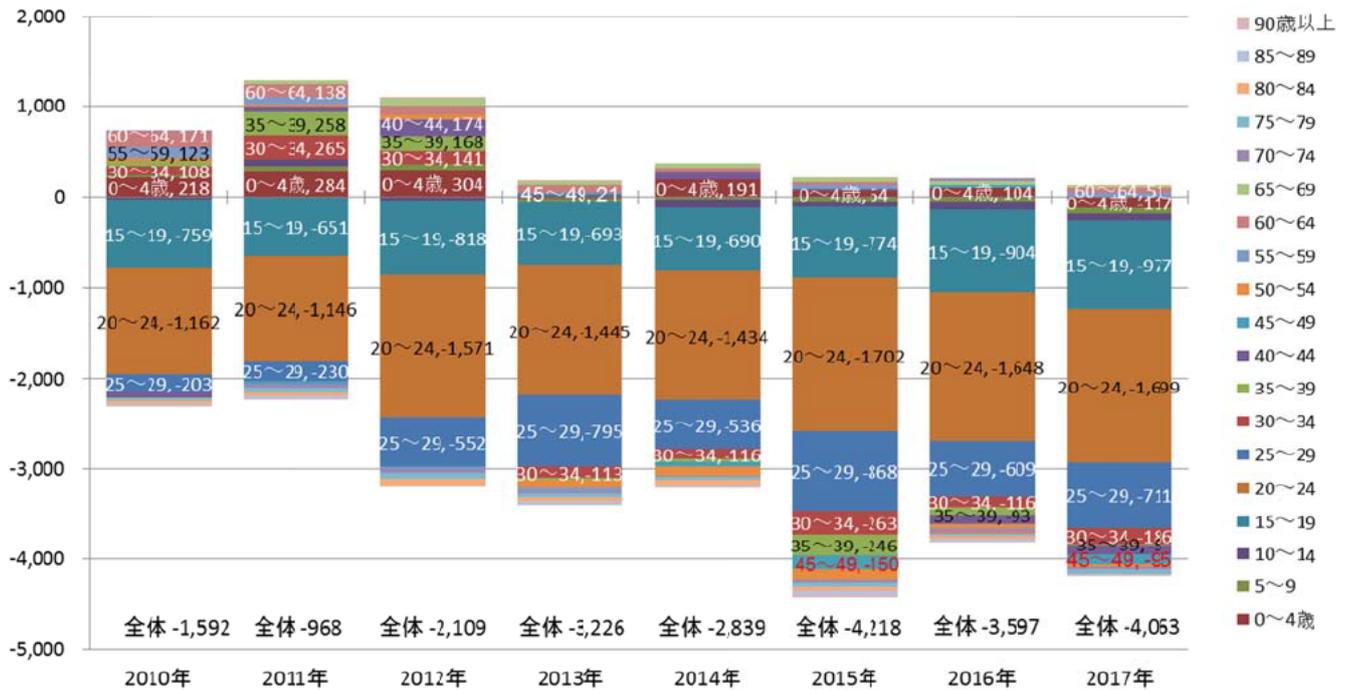


※総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」から作成

(1) 三重県における転入・転出超過数の推移（年齢階級別、地域ブロック別）

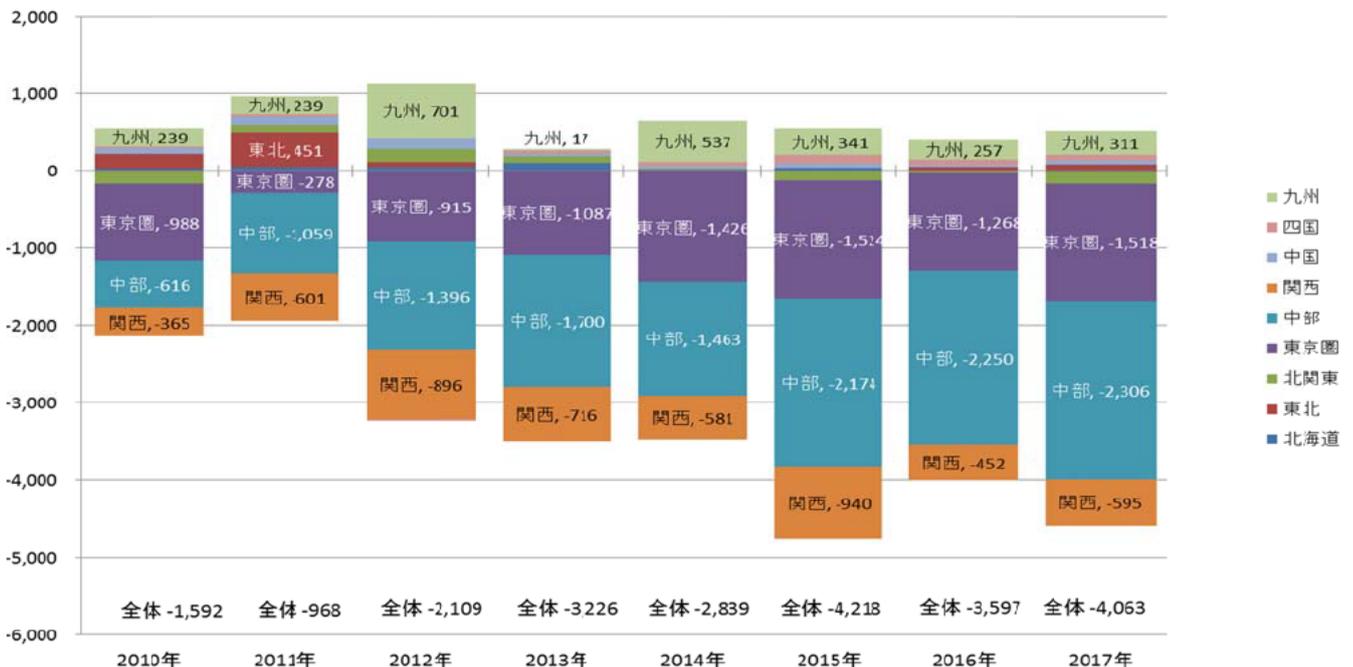
(ア) 【図2】 転入・転出超過数の推移（年齢階級別）

※外国人は含まない



(イ) 【図3】 転入・転出超過数の推移（地域ブロック別）

※外国人は含まない



※地域ブロック区分は下記のとおり

- 【東北】 青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島
- 【東京圏】 埼玉, 千葉, 東京, 神奈川
- 【関西】 滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山
- 【四国】 徳島, 香川, 愛媛, 高知

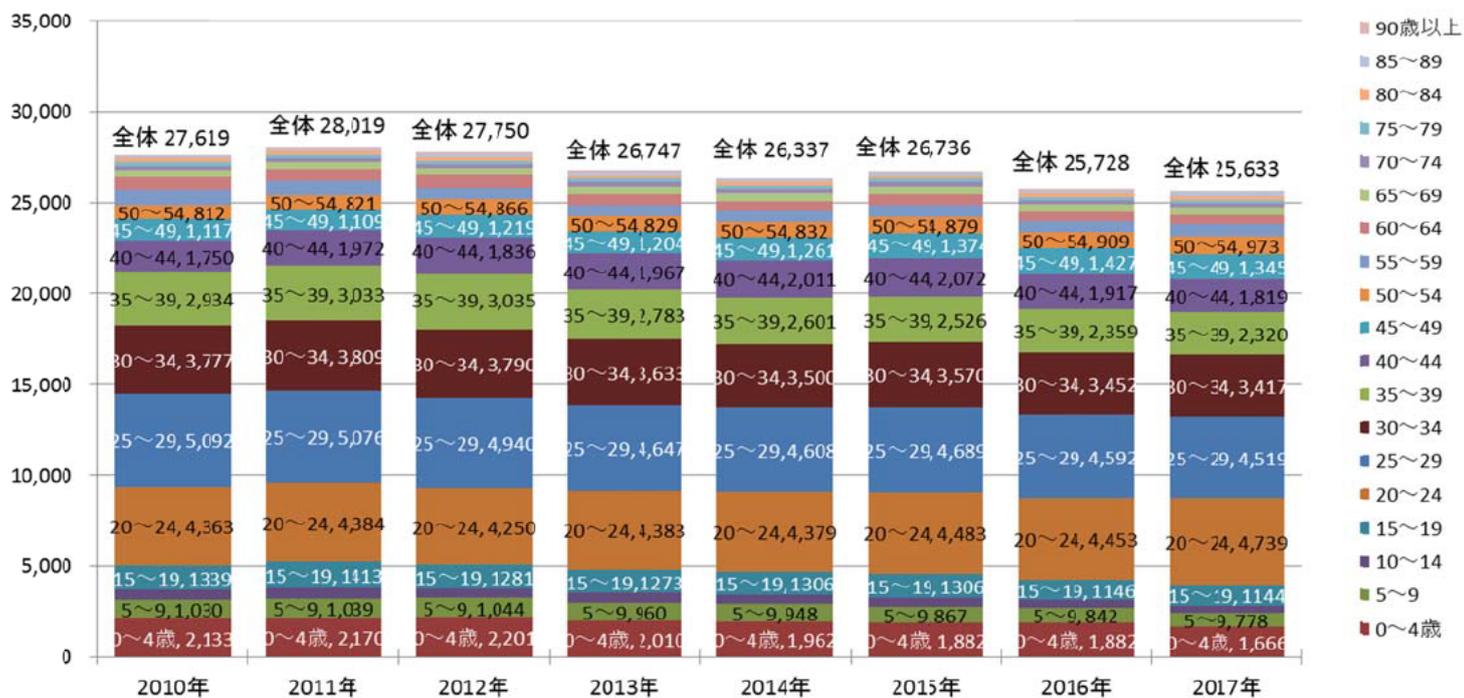
- 【北関東】 茨城, 栃木, 群馬
- 【中部】 新潟, 富山, 石川, 福井, 山梨, 長野, 岐阜, 静岡, 愛知
- 【中国】 鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口
- 【九州】 福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄

※総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」より作成

2017年の三重県の転入・転出超過数は4,063人の転出超過で、その内訳をみると、年齢階級別では、15歳～19歳（977人）、20歳～24歳（1,699人）、25歳～29歳（711人）の転出超過が多い。また、地域ブロック別では、中部（2,306人）、東京圏（1,518人）、関西（595人）に対して4,419人の転出超過となっている。

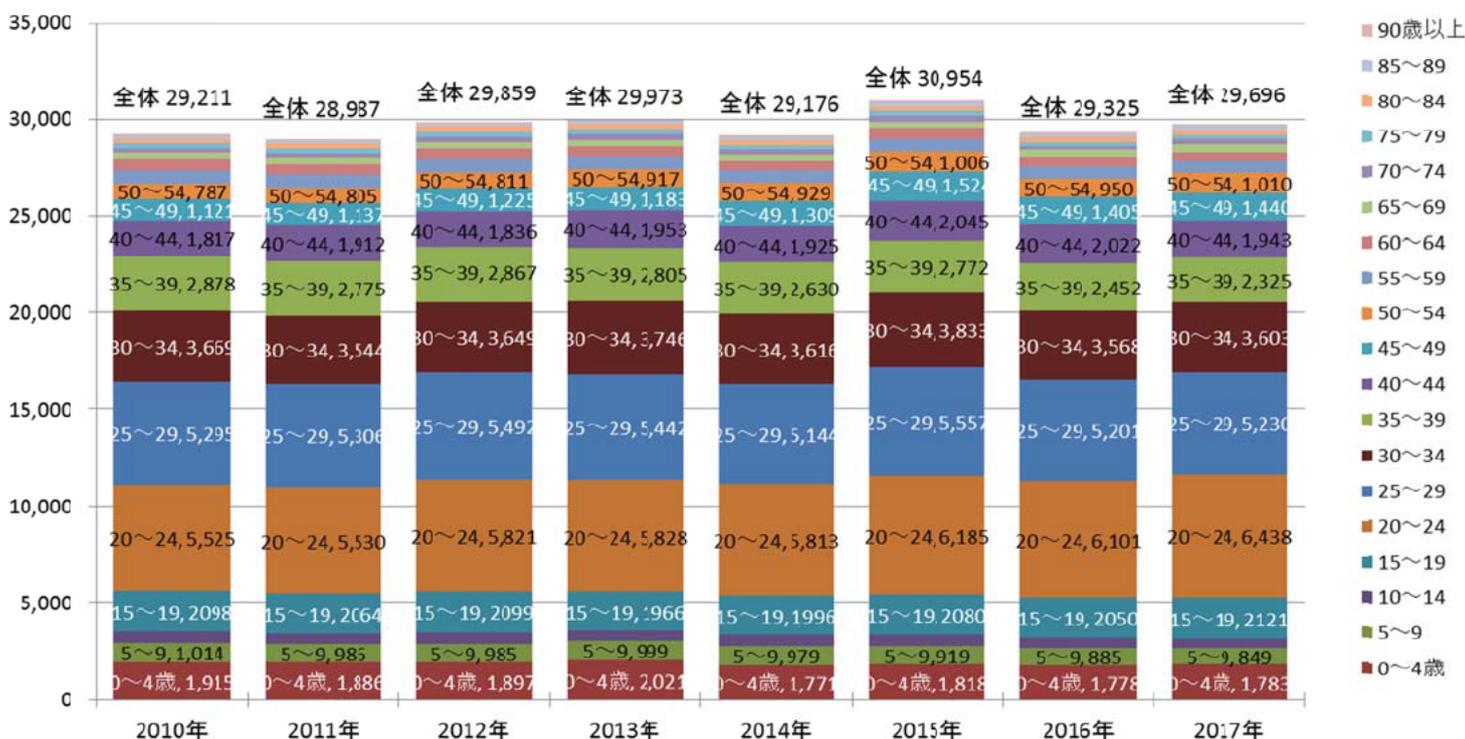
(人) 【図4】 転入者数の推移 (年齢階級別)

※外国人は含まない



(人) 【図5】 転出者数の推移 (年齢階級別)

※外国人は含まない



※総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」より作成

- ・2017年の転入者数は、20歳～24歳(4,739人)、25歳～29歳(4,519人)、30歳～34歳(3,417人)が多く、全体の49.4%を占めている。
- ・2017年の転出者数は、20歳～24歳(6,438人)、25歳～29歳(5,230人)、30歳～34歳(3,603人)が多く、全体の51.4%を占めている。

## ◇年齢階級別

- ・ 2017 年の転出超過数が基準値から 1,063 人増加している要因として、15～24 歳（進学・就職世代）の転出者数が増加していることが大きく影響していると考えられる。
- ・ 2017 年の転入者数が減少している要因として、30～44 歳と 0～14 歳の転入者数が減少していることが影響していると考えられる。

### ① 0～4 歳、5～9 歳、10～14 歳、30～34 歳、35～39 歳、40～44 歳

- ・ 2013 年の 0～14 歳と 30～44 歳の転入者数の合計は 11,902 人、転出者数の合計は 12,059 人となっており、157 人の転出超過となっている。
- ・ 2014 年の 0～14 歳と 30～44 歳の転入者数の合計は 11,519 人、転出者数の合計は 11,509 人となっており、10 人の転入超過となっている。
- ・ 2017 年の 0～14 歳と 30～44 歳の転入者数の合計は 10,393 人、転出者数の合計は 10,967 人となっており、574 人の転出超過となっている。また、2013 年、2014 年と比べて、転出者数の減少幅よりも転入者数の減少幅が大きい。

### ② 15～19 歳、20～24 歳

- ・ 2013 年の 15～24 歳の転入者数は 5,656 人、転出者数は 7,794 人となっており、2,138 人の転出超過となっている。
- ・ 2014 年の 15～24 歳の転入者数は 5,685 人、転出者数は 7,809 人となっており、2,124 人の転出超過となっている。
- ・ 2017 年の 15～24 歳の転入者数は 5,883 人、転出者数は 8,559 人となっており、2,676 人の転出超過となっている。また、2013 年、2014 年と比べて、転入者数は 15～19 歳で減少傾向であるが 20～24 歳は増加傾向である。転出者数は増加傾向であり、20～24 歳は増加幅が大きい。

### ③ 25～29 歳

- ・ 2013 年の 25～29 歳の転入者数は 4,647 人、転出者数は 5,442 人となっており、795 人の転出超過となっている。
- ・ 2014 年の 25～29 歳の転入者数は 4,608 人、転出者数は 5,144 人となっており、536 人の転出超過となっている。
- ・ 2017 年の 25～29 歳の転入者数は 4,519 人、転出者数は 5,230 人となっており、711 人の転出超過となっている。また、2013 年、2014 年と比べて、転入者数は減少傾向であるが、転出者数はほぼ同水準で推移している。

### ④ 45～49 歳、50～54 歳、55～59 歳

- ・ 2013 年の 45～59 歳の転入者数の合計は 2,651 人、転出者数の合計は 2,767 人となっており、116 人の転出超過となっている。
- ・ 2014 年の 45～59 歳の転入者数の合計は 2,712 人、転出者数の合計は 2,854 人となっており、142 人の転出超過となっている。
- ・ 2017 年の 45～59 歳の転入者数の合計は 3,075 人、転出者数の合計は 2,994 人となっており、81 人の転入超過となっている。また、2013 年、2014 年と比べて、転入者数と転出者数ともに増加している。

### ⑤ 60～64 歳、65～69 歳、70～74 歳、75～79 歳、80～84 歳、85～89 歳、90 歳以上

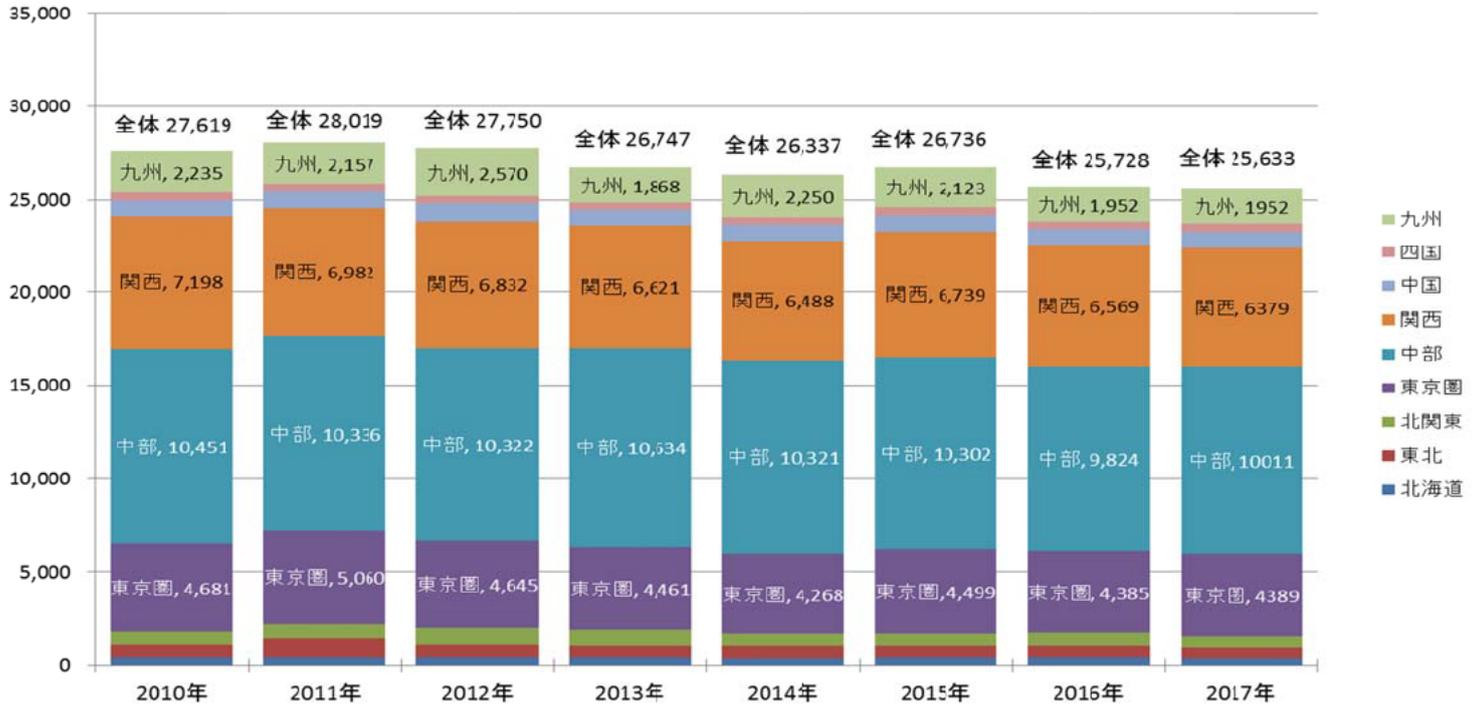
- ・ 2013 年の 60～89 歳、90 歳以上の転入者数の合計は 1,891 人、転出者数の合計は 1,911 人となっており、20 人の転出超過となっている。
- ・ 2014 年の 60～89 歳、90 歳以上の転入者数の合計は 1,813 人、転出者数の合計は 1,860 人となっており、47 人の転出超過となっている。
- ・ 2017 年の 60～89 歳、90 歳以上の転入者数の合計は 1,844 人、転出者数の合計は 1,865 人となっており、21 人の転出超過となっている。また、2013、2014 年と比べて、転入者数と転出者数ともに同水準で推移している。

(2) 三重県における転入者数、転出者数の推移（地域ブロック別）

(人)

【図6】転入者数の推移（地域ブロック別）

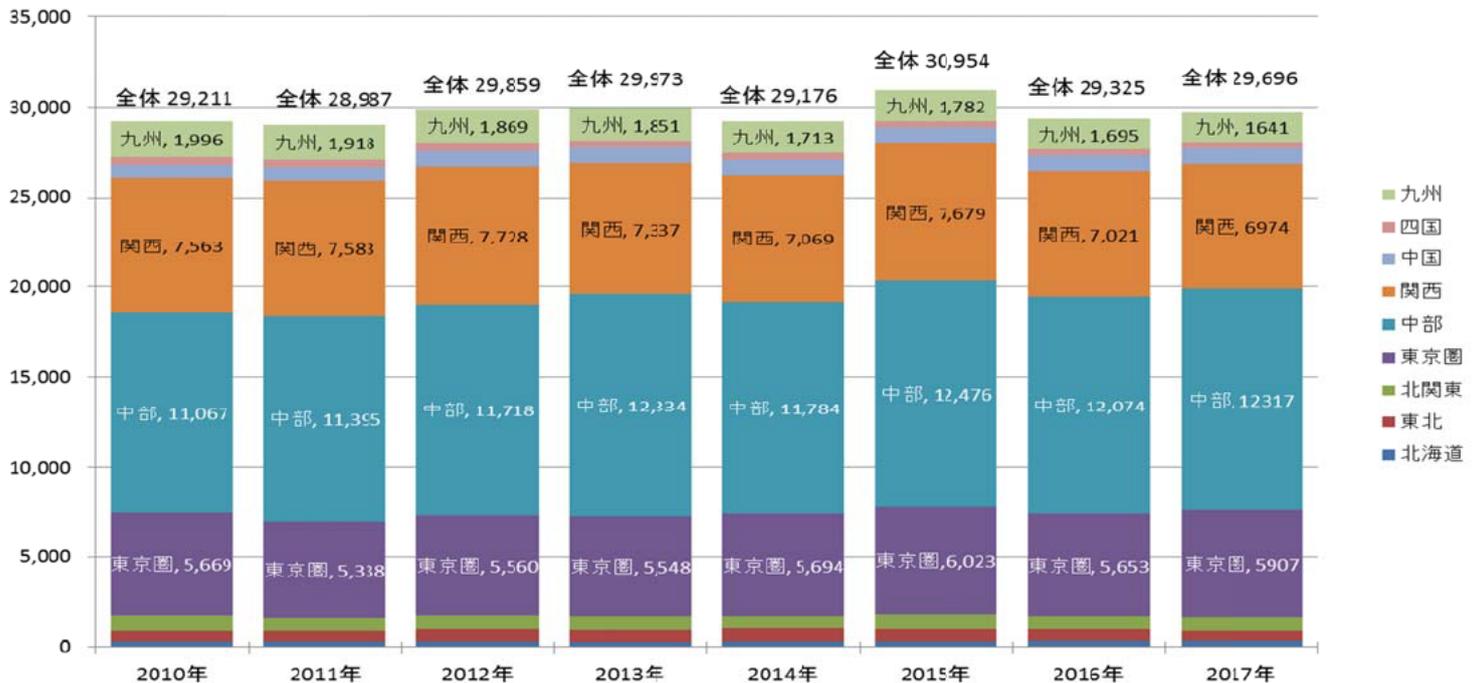
※外国人は含まない



(人)

【図7】転出者数の推移（地域ブロック別）

※外国人は含まない



※地域ブロック区分は下記のとおり

- 【東北】青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
- 【東京圏】埼玉、千葉、東京、神奈川
- 【関西】滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
- 【四国】徳島、香川、愛媛、高知

- 【北関東】茨城、栃木、群馬
- 【中部】新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
- 【中国】鳥取、島根、岡山、広島、山口
- 【九州】福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

※総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」より作成

- ・2017年の転入者数は、中部（10,011人）、関西（6,379人）、東京圏（4,389人）が多く、全体で81.1%を占めている。
- ・2017年の転出者数は、中部（12,317人）、関西（6,974人）、東京圏（5,907人）が多く、全体で84.9%を占めている。

- ・ 2017 年の転入者数が減少している要因として、関西から三重県への転入者数が減少していることが影響していると考えられる。
- ・ 2017 年の転出者数は 2016 年と比べて、特に中部（243 人増）、東京圏（254 人増）で増加している。

### ① 中部

- ・ 2013 年の中部から三重県への転入者数は 10,634 人、転出者数は 12,334 人となっており、1,700 人の転出超過となっている。
- ・ 2014 年の中部から三重県への転入者数は 10,321 人、転出者数は 11,784 人となっており、1,463 人の転出超過となっている。
- ・ 2017 年の中部から三重県への転入者数は 10,011 人、転出者数は 12,317 人となっており、2,306 人の転出超過となっている。また、2013 年、2014 年と比べて、転入者数は減少しているが、転出者数はほぼ同水準で推移している。

### ② 東京圏

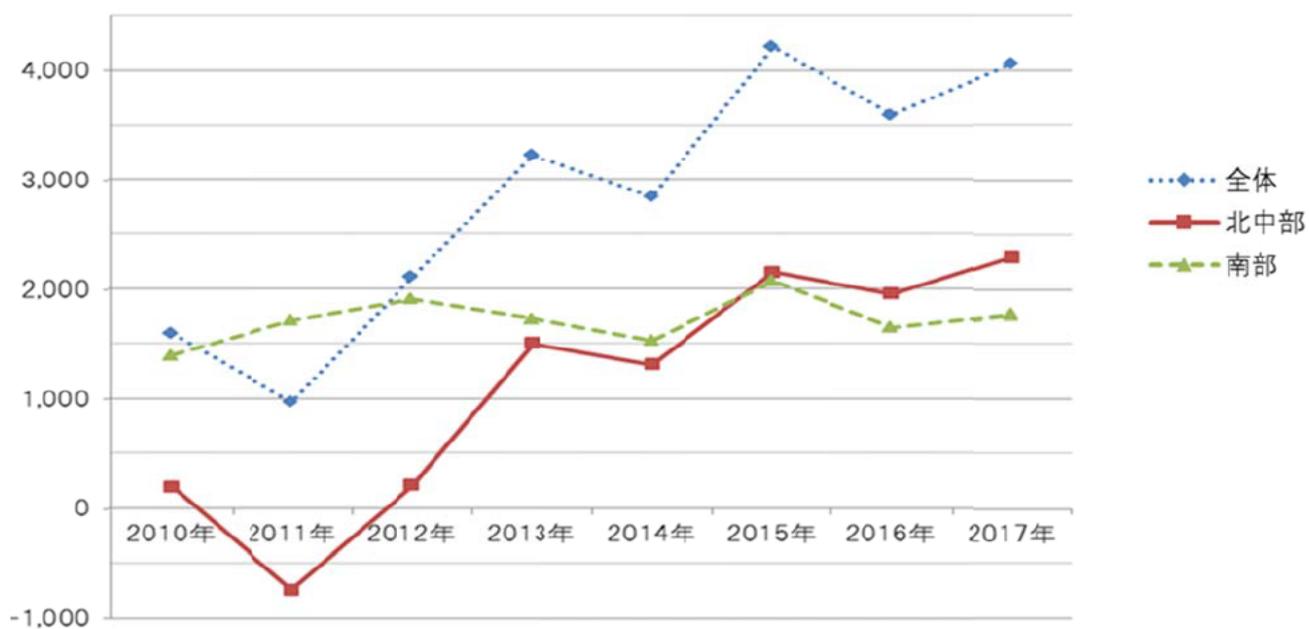
- ・ 2013 年の東京圏から三重県への転入者数は 4,461 人、転出者数は 5,548 人となっており、1,087 人の転出超過となっている。
- ・ 2014 年の東京圏から三重県への転入者数は 4,268 人、転出者数は 5,694 人となっており、1,426 人の転出超過となっている。
- ・ 2017 年の東京圏から三重県への転入者数は 4,389 人、転出者数は 5,907 人となっており、1,518 人の転出超過となっている。また、2013 年、2014 年と比べて、転入者数は多少の増減があるものの、ほぼ同水準で推移しているが、転出者数は増加している。

### ③ 関西

- ・ 2013 年の関西から三重県への転入者数は 6,621 人、転出者数は 7,337 人となっており、716 人の転出超過となっている。
- ・ 2014 年の関西から三重県への転入者数は 6,488 人、転出者数は 7,069 人となっており、581 人の転出超過となっている。
- ・ 2017 年の関西から三重県への転入者数は 6,379 人、転出者数は 6,974 人となっており、595 人の転出超過となっている。また、2013 年、2014 年と比べて、転入者数、転出者数とも減少している。

(3) 三重県における転入・転出超過数の推移（地域別）

【図8 | 地域別転出超過数

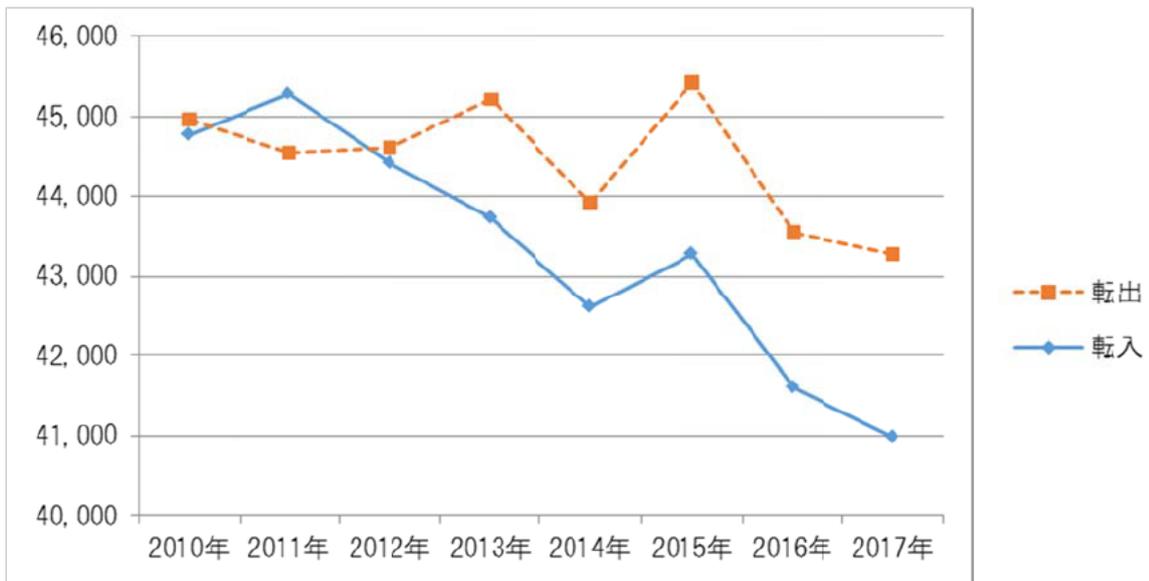


※総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」から作成

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
全体	1,592	968	2,109	3,226	2,839	4,218	3,597	4,063
北中部	196	-744	206	1,502	1,309	2,149	1,951	2,295
南部	1,396	1,712	1,903	1,724	1,530	2,069	1,646	1,768

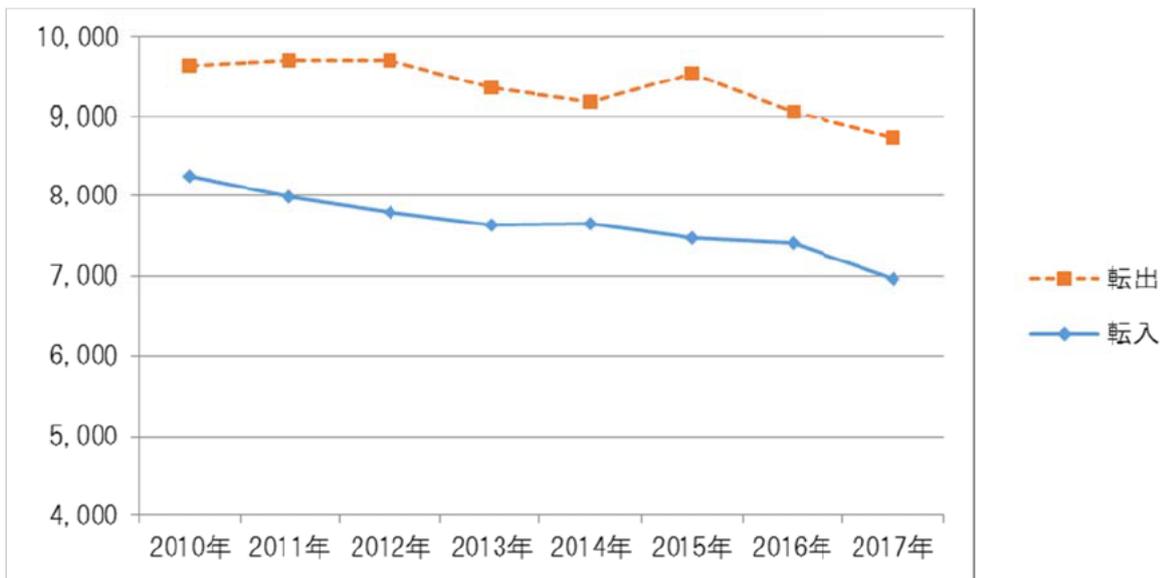
転出超過数を地域別にみると、南部地域では1,500人から2,000人で推移しているが、北中部地域では2011年以降、増加傾向にある。

【図9】地域別転入数、転出数（北中部地域）



※総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」から作成

【図10】地域別転入数、転出数（南部地域）



※総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」から作成

転入数及び転出数を地域別にみると、転入数は北中部地域及び南部地域とも減少傾向にあるが、北中部地域での転入数の減少が大きい。転出数については、2015年以降北中部地域、南部地域とも減少傾向にある。